2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月13日

上場会社名　　日本ホスピスホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　7061　　ＵＲＬ　https://www.jhospice.co.jp
代表者　　（役職名）代表取締役社長 CEO　　（氏名）高橋　正
問合せ先責任者　（役職名）取締役副社長 CFO　　（氏名）加藤　晋一郎　　ＴＥＬ　03-6368-4154

配当支払開始予定日　　－
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	10,712	3.4	349	△50.2	△23	－	△75	－
2025年12月期第３四半期	10,361	16.8	700	△25.8	511	△27.8	304	△30.5

（注）包括利益　2026年12月期第３四半期　△75百万円（－%）　2025年12月期第３四半期　304百万円（△30.5%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	△8.91	－
2025年12月期第３四半期	36.23	36.01

（注）2026年12月期第３四半期の潜在株式調整後１株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの１株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	18,462	3,419	18.5
2025年12月期	18,924	3,677	19.4

（参考）自己資本　2026年12月期第３四半期　3,419百万円　2025年12月期　3,677百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	－	0.00	－	25.00	25.00
2026年12月期	－	0.00	－		
2026年12月期（予想）				－	－

（注）１．直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無
２．2026年12月期の配当予想につきましては、現時点では未定としています。

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	―	―	―	―	―	―	―	―	―

（注）１．直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

２．現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規　－社　（社名）－、除外　－社　（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無

② ①以外の会計方針の変更　：無

③ 会計上の見積りの変更　：無

④ 修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	8,484,100株	2025年12月期	8,428,100株
② 期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	1,490株	2025年12月期	1,490株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	8,460,133株	2025年12月期３Ｑ	8,398,304株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料（Ｐ３　「１．　経営成績等の概況　（３） 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」）をご覧ください。

○添付資料の目次

１．経営成績等の概況 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書 …… 6
四半期連結包括利益計算書 …… 7
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 8
（表示方法の変更に関する注記） …… 8
（セグメント情報等の注記） …… 8
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 8
（継続企業の前提に関する注記） …… 8
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 8
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 8
（重要な後発事象） …… 8

１．経営成績等の概況

（１）経営成績に関する説明

① 市場環境

当社グループの事業が関わる医療・看護・介護の環境につきましては、「治す医療（急性期）」から「支える医療（慢性期・療養期）」への変革が加速しています。この変革の根底にあるのは、日本が直面する急速な超高齢化と疾病構造の変化です。

具体的には、急性疾患などの「治療で完治する病気」ではなく、がん、呼吸器不全、心不全や認知症などの「完全に治すことは難しいが、長く付き合っていく病気」を抱える高齢者が大半を占めるようになり、医療の目的が、「命を救うこと」だけでなく、「住み慣れた地域で自分らしくどう生きるか」へとシフトするようになりました。

この医療変革を実行するため、供給過剰となっている病床数の削減と併せて在宅医療への移行を促進することで、地域全体で最適な医療・看護・介護を切れ目なく提供することが急がれており、その中で、ホスピス住宅には、生活の場に医療を届けるためのインフラ機能として、大きな需要が見込まれております。

② 2026年７月～９月におけるホスピス施設の状況

このような状況の中、当社グループは「すべては笑顔のために」というコーポレートスローガンを掲げ、在宅での看取りを前提とした在宅ホスピスの事業を推進し、当第３四半期連結会計期間においては、以下のホスピス施設を新たに開設しました。

名称	所在地	居室数	開設月
ファミリー・ホスピス勝田台ハウス	千葉県八千代市	36	2026年７月
ファミリー・ホスピス南仙台ハウス	仙台市太白区	36	2026年９月

以上、２施設の新規開設により、当社グループの運営するホスピス住宅は、全62施設2,131室となり、前連結会計年度末より107室増加（前期比5.3%増）しました。

③ 前年同期比較

2026年６月１日から施行の診療報酬改定により、改定直後はご入居者一人あたりの医療保険売上が月額約20万円減少したものの、その後、住宅家賃等の適正化（従来の価格帯への回帰）、らいふプラン費（※）の徴収率向上、施設におけるライン稼働率向上など、講じた諸施策は効果的に寄与しており、ご入居者一人あたりの売上単価は毎月改善しております。

一方で、他社の一部で住宅家賃等の値上げの動きは見られるものの、市場全体を見れば値上げの本格化はこれからで、つまりはホスピス市場が正常化に向かう途上にあるという外部環境も理由ですが、ここ数年間歪な価格帯であった住宅家賃等を、ホスピス業界が正常だった頃の価格帯に戻したことにより、６月末から９月末にかけて、ご利用者数が1,393名から1,231名へと162名減少し、売上高は減少しました。

また、ご利用者数（売上高）の減少に比べて社員数（人件費）の減少は相対的に小さく、結果として、売上高人件費率が上がり、単月損益は赤字の状況が続いております。

これらの結果、売上高については、第２四半期まで対前年同期比114%だったこともあり、前第３四半期連結累計期間に比べて増収となりましたが、損益については減益となりました。

※らいふプラン費

医療や介護の手順を決めるケアプランにとどまらず、「ご入居者とご家族が、これからの時間をどのように自分らしく過ごしたいか」という想いや希望を形にする、オーダーメイドの生活設計・ビジョンを作成する当社グループ独自の付加価値サービス。

④ 当社グループの施設損益

当社グループの運営する施設は、開設に先立って看護師等の従業員を採用することでホスピスチームを作り、ホスピスチームが確立した事を確認して施設を開設し、開設した後に順次入居者を受け入れる形で運営を行っていることから、一定の稼働率に至るまでは売上に対して人件費等の費用が先行して発生することになります。また、施設の居室数が30室前後の場合は施設開設から約１年をかけて、40室前後の場合は施設開設から約１年半をかけて、当社グループが満室の目安とする85%の稼働率に至る計画で展開しております。

以上の結果、当第３四半期連結累計期間における売上高は、10,712,046千円（前年同期比3.4%増）となりました。利益に関しては、営業利益が349,007千円（前年同期比50.2%減）となり、助成金収入等の営業外収益12,067千円、借入金及びリース債務に係る支払利息等の営業外費用384,479千円を計上した結果、経常損失は23,404千円（前年同期は経常利益511,854千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は75,398千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益304,340千円）となりました。

当社グループは、在宅ホスピス事業のみの単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

（２）財政状態に関する説明

（資産）

当第３四半期連結会計期間末における総資産は18,462,807千円となり、前連結会計年度末に比べて462,044千円減少しました。これは主に、リース資産が534,147千円増加した一方で、現金及び預金が410,611千円、建物及び構築物が377,123千円減少したこと等によるものであります。

（負債）

当第３四半期連結会計期間末における負債は15,042,995千円となり、前連結会計年度末に比べて203,980千円減少しました。これは主に、リース債務が383,131千円増加した一方で、長期借入金（１年内返済予定を含む）が354,625千円、未払費用が157,930千円減少したこと等によるものであります。

（純資産）

当第３四半期連結会計期間末における純資産は3,419,812千円となり、前連結会計年度末に比べて258,064千円減少しました。これは主に、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ14,280千円増加した一方で、利益剰余金が親会社株主に帰属する四半期純損失75,398千円を計上したことや2025年12月期に係る期末配当210,665千円の支払いにより286,064千円減少したことによるものであります。

以上の結果、当第３四半期連結会計期間末における自己資本比率は18.5%となり、前連結会計年度末の19.4%に比べて0.9ポイント減少しております。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想について、現時点では業績に影響を与える未確定な要素が多いため、業績予想を数値で示すことが困難な状況です。連結業績予想及び配当予想については、合理的に予測可能となった時点で公表します。

詳細につきましては、2026年８月14日に公表した「連結業績予想及び配当予想の取り下げに関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,013,562	1,602,951
売掛金	2,284,992	1,935,850
その他	253,677	348,875
流動資産合計	4,552,233	3,887,677
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,960,240	3,583,116
機械装置及び運搬具	11,439	11,439
工具、器具及び備品	316,216	344,090
土地	1,688,220	1,693,727
リース資産	9,111,464	9,645,611
建設仮勘定	1,155	412,686
減価償却累計額	△2,271,358	△2,683,062
有形固定資産合計	12,817,378	13,007,611
無形固定資産		
のれん	292,374	246,350
その他	99,484	89,189
無形固定資産合計	391,859	335,539
投資その他の資産		
繰延税金資産	87,011	54,654
その他	1,076,369	1,177,325
投資その他の資産合計	1,163,381	1,231,979
固定資産合計	14,372,619	14,575,130
資産合計	18,924,852	18,462,807

（単位：千円）

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
短期借入金	※ 600,000	※ 584,000
１年内返済予定の長期借入金	※ 868,202	※ 474,485
リース債務	207,907	229,526
未払金	347,341	284,139
未払費用	1,002,477	844,547
預り金	251,841	228,273
未払法人税等	81,091	4,768
賞与引当金	31,917	－
その他	15,818	125,059
流動負債合計	3,406,596	2,774,800
固定負債		
長期借入金	※ 3,250,382	※ 3,289,474
リース債務	8,257,754	8,619,266
退職給付に係る負債	80,572	87,794
資産除去債務	95,891	101,940
その他	155,780	169,720
固定負債合計	11,840,380	12,268,195
負債合計	15,246,976	15,042,995
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,872	492,153
資本剰余金	824,376	838,657
利益剰余金	2,376,104	2,090,040
自己株式	△1,038	△1,038
株主資本合計	3,677,315	3,419,812
新株予約権	560	－
純資産合計	3,677,876	3,419,812
負債純資産合計	18,924,852	18,462,807

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
売上高	10,361,209	10,712,046
売上原価	8,976,465	9,553,879
売上総利益	1,384,743	1,158,167
販売費及び一般管理費		
役員報酬	68,976	56,015
給料及び手当	118,656	127,426
法定福利費	24,999	26,077
租税公課	253,403	379,699
のれん償却額	46,024	46,024
その他	171,808	173,917
販売費及び一般管理費合計	683,869	809,160
営業利益	700,873	349,007
営業外収益		
受取利息	2,293	5,042
助成金収入	148,434	3,859
雑収入	2,275	3,165
その他	7,794	－
営業外収益合計	160,798	12,067
営業外費用		
支払利息	347,000	381,648
その他	2,817	2,831
営業外費用合計	349,817	384,479
経常利益又は経常損失（△）	511,854	△23,404
特別利益		
新株予約権戻入益	3,705	－
特別利益合計	3,705	－
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	515,559	△23,404
法人税、住民税及び事業税	236,627	19,636
法人税等調整額	△25,407	32,356
法人税等合計	211,219	51,993
四半期純利益又は四半期純損失（△）	304,340	△75,398
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失（△）	304,340	△75,398

（四半期連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	304,340	△75,398
四半期包括利益	304,340	△75,398
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	304,340	△75,398

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（表示方法の変更に関する注記）

（四半期連結損益計算書）

前第３四半期連結累計期間において、営業外収益の「その他」に含めておりました「雑収入」は、金額的重要性が増したため、当第３四半期連結会計期間より区分掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前第３四半期連結累計期間の四半期連結損益計算書において、営業外収益の「その他」に表示していた10,070千円は、「雑収入」2,275千円、「その他」7,794千円として組み替えております。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

当社グループは、在宅ホスピス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

※　貸出コミットメント契約

当社及び連結子会社（ファミリー・ホスピス株式会社）においては、事業拡大及び財務基盤の安定化のため、取引銀行２行と当座貸越契約及びコミットメント型タームローン契約を締結しております。これら契約に基づく借入未実行残高は次のとおりであります。

①　貸出コミットメント契約

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
当座貸越極度額の総額	750,000千円	1,150,000千円
借入実行残高	600,000	584,000
差引額	150,000	566,000

②　コミットメント型タームローン契約

	前連結会計年度 （2025年12月31日）	当第３四半期連結会計期間 （2026年９月30日）
タームローン極度額の総額	200,000千円	200,000千円
借入実行残高	200,000	200,000
差引額	－	－

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、当第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	386,136千円	435,075千円
のれんの償却額	46,024	46,024

（重要な後発事象）

該当事項はありません。